

実習レポート：ハイテク農芸高校

大阪城の景色を守る 「プロの魔法」

～中学生にもわかる、造園（ぞうえん）のスゴ技～

✂ 15メートル先の「キレイ」を作る

ここがプロの視点！

遠くから見て「最高」にする

盆栽（ぼんさい）は近くで細かく見ますが、お城の松は15メートル離れて見るもの。プロは「遠くからどう見えるか」を計算して枝を切ります。

自分だけが満足するのではなく、見る人の気持ちになって、「スピード」と「美しさ」を両立させるのがプロの技です。



みんなが安心できる公園づくり



世界をおもてなし

多言語のパンフレットやコンビニ。観光のしやすさと「花に触らない」などのマナー対策が両立しています。



安全のひみつ

曲がり角の木を短く切るのは、車から歩行者がよく見えるようにするため。景色にはすべて理由があります。



かっこいい大型工具

高所作業車などのプロの車は迫力満点！学校では見られない専門的な道具で効率よく作業していました。



100年後の未来へつなぐエコサイクル

資源をムダにしない

ゴミを出さない「チップ化」

切った枝はその場でチップにして、また土の肥料（ひりょう）に戻します。園内でゴミを出さない資源循環を学びました。



サクラを救うドクター

害虫（がいちゅう）対策

サクラを枯らす「クビアカツヤカミキリ」などの虫を徹底的に駆除。美しい景観を守るためには厳しい管理が不可欠です。



当たり前前の景色は、誰かの『思考』と『努力』でできていた。帰り道の街路樹も、誰かの想いが詰まった『作品』に見える

少しの知識と深い理解が、世界を美しくする。

プロから学んだ「成長のヒント」：自分満足の仕事ではなく、見る人の視点に立つこと。

